

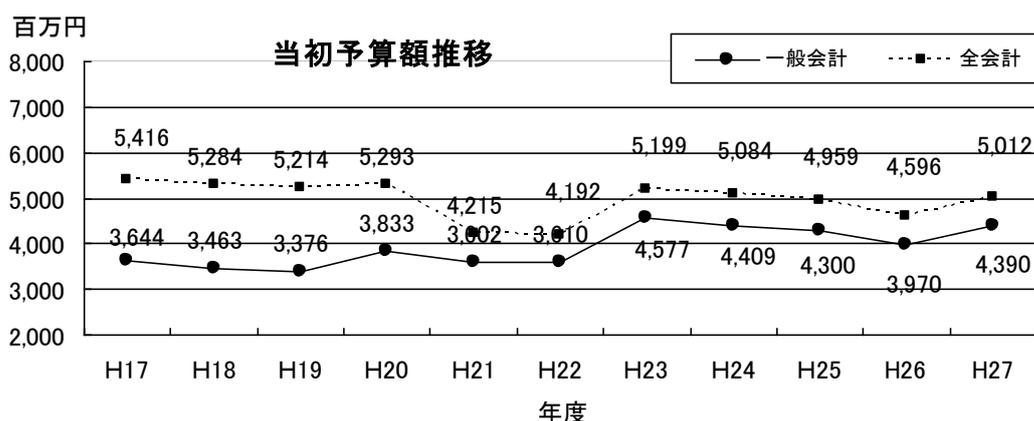
平成27年度ニセコ町予算案の概要

平成27年2月
 総務課財政係
 (数値は一部概算値を用いています)

1 予算規模

単位：万円、%

会 計	27年度予算額		26年度予算額		増減比較			
	当初 A	当初 B	現計 C	当初予算比		現計予算比		
				A-B	増減率(%)	A-C	増減率(%)	
一 般 会 計	439,000	397,000	426,388	42,000	10.6	12,612	3.0	
国民健康保険事業特別会計	23,930	23,600	23,750	330	1.4	180	0.8	
後期高齢者医療特別会計	5,060	5,320	5,320	△ 260	△ 4.9	△ 260	△ 4.9	
簡易水道事業特別会計	15,540	15,430	16,164	110	0.7	△ 624	△ 3.9	
公共下水道事業特別会計	17,160	17,450	17,583	△ 290	△ 1.7	△ 423	△ 2.4	
農業集落排水事業特別会計	490	800	800	△ 310	△ 38.8	△ 310	△ 38.8	
合 計	501,180	459,600	490,005	41,580	9.1	11,175	2.3	
羊蹄山ろく消防組合ニセコ支署	16,084	16,012	16,057	72	0.5	27	0.2	



2 予算案の概要、編成方針

各会計予算の総額は50億1,180万円で、前年当初比4億1,580万円の増額(9.1%)となりました。一般会計においては学童保育事業と放課後こども教室の運営に対応した施設の建設を進めるとともに、平成23年度から始めた、中央地区駅前倉庫群再活用事業の最終年に当たり、施設および周辺整備を実施することから、総額43億9千万円という予算となっています。

昨年本町は、ニセコ町に町名を改名して50周年の記念の年を迎えました。この記念の年に「環境モデル都市」の指定、「ニセコ観光圏」や「ニセコワイン特区」の認定を受けることができました。

平成27年度は、これら各種の指定によってできたまちづくりの基盤をさらに前進させるための構想の年として位置づけ、予算編成にあたっています。

本年度から工事が開始される国営緊急農地再編整備事業の取り組みを中心とし、より子育てのしやすい町となるために幼児センター、学校教育、学校給食、社会スポーツなどで新規施策の実施や事業の拡充などを進めます。また、災害時において

拠点となる防災センターや、「環境モデル都市」として次のステージに進むための計画策定など、各種の事業の計画策定も合わせて進めていきます。さらに、国が発している「地方創生」にも先駆的地域として積極的な取り組みを進めていきます。

これらを踏まえ、平成27年度については次の事業に取り組みます。

【国営緊急農地再編整備事業の推進】		
国営ニセコ土地改良事業	事業費	1,719万円
【農業の多面的機能の維持・発揮】		
多面的機能支払交付金事業	事業費	4,166万円
【社会福祉の充実】		
高齢者グループホーム運営	事業費	449万円
社会福祉協議会補助	事業費	1,850万円
地域活動支援センター運営事業補助	事業費	874万円
【児童福祉の充実】		
学童クラブ（仮称）整備事業	事業費	1億4,482万円 ^①
中学生までの医療費の無料化（拡大分）	事業費	697万円
【教育環境の充実】		
ニセコ高等学校トイレ改修工事	事業費	1,494万円 ^①
ニセコ町スポーツ活動・施設全体構想	事業費	200万円 ^①
児童生徒スーキーシーズン券の購入助成	事業費	300万円
【地域における情報と交流の新たな拠点づくり】		
コミュニティFM放送局運営事業	事業費	2,196万円
中央地区駅前旧倉庫群再整備工事	事業費	2億0,912万円
【快適な生活基盤の整備推進】		
デマンドバス運行事業	事業費	1,965万円
橋梁長寿命化改修事業	事業費	1,560万円 ^①
公営住宅改善事業	事業費	9,708万円
【地域の省エネルギー化の推進】		
低炭素な地域づくり実行計画策定業務	事業費	1,000万円 ^①
街路灯LED照明更新事業	事業費	1,600万円
【広域観光圏の推進】		
ニセコ観光圏推進事業	事業費	797万円
【公共施設の耐震化・安全性の確保】		
橋梁長寿命化点検委託業務	事業費	800万円
ニセコ高等学校体育館基本設計事業	事業費	252万円 ^①
【防災対策、防災機能の強化】		
原子力防災、総合防災対策の充実	事業費	688万円
防災センター建設基本設計業務	事業費	250万円 ^①
【簡易水道事業の将来プランの策定】		
簡易水道ビジョン策定計画事業	事業費	758万円 ^①

【収 入】

町税は、国内の景気の回復傾向を考慮しつつも、国の税の組み換えなどによる減額等を考慮した結果、町民税で1億7,035万円、昨年比302万円増とし、固定資産税などを含めた全体で概ね前年より322万円増収の歳入を見込みます。

地方交付税は、18億9,000万円（前年当初比より500万円増額）を計上しました。

普通交付税は、交付税による財源措置のある過疎対策事業債の償還額が減少するものの、福祉関連経費の増加等による増収を見込み、17億4,500万円（前年当初比500万円減額）を計上しています。また特別交付税については地域おこし協力隊及び集落支援員の増員により算定基準額が上がることから1億4,500万円（前年度当初比より1,000万円増額）を計上しています。

また、地方財政対策における財源補填のための町債（臨時財政対策債）の発行は、1億2,600万円を見込みます。

町債（借入金）は、学童クラブ建設事業、ニセコ高等学校施設機能向上事業などを新たに実施し、本年度事業最終年である中央地区駅前倉庫群再整備工事のほか、道路、橋梁、公営住宅の整備、LED街路、防犯灯設置工事などの継続事業により、4億7,290万円（前年当初比1億4,238万円の増）を計上しました。

【支 出】

普通建設事業費（公共投資事業費）は、6億2,528万円（前年当初比2億5,332万円）の増加（68.1%）となりました。

維持補修費は、1億8,042万円（前年当初比1,275万円）の増加です。現在、施設の長寿命化と改修コストの平準化を進めており、快適性の確保を図るため、公共施設整備基金を活用して既存公共施設への必要な改修（投資）を進め、町民共有の大切な資産の保有に努めます。

町債元利償還のための公債費（借金）は、7億2,657万円で前年当初比1,748万円の増加となります。

扶助費は、ここ数年来の実績を考慮し、予算を積み上げた結果2億3,618万円となり、1,248万円の減少となりました。

特別会計予算案の概要

本年度は国民健康保険事業会計への税込不足分の繰出金（補てん金）と上記の上下水道3会計における財源不足を補うための一般会計からの繰出金は、合計で2億8,595万円（前年当初比239万円の減額）となっています。上下水道会計においては今後も施設や機械設備の老朽化による維持管理経費の増加が予想されることから、維持補修や改修などによる保全及び計画的な更新に努め、将来コストの抑制を図ります。

国民健康保険事業会計では、療養給付費の増額による後志広域連合負担金の増により、前年当初比330万円の増額となっています。財源不足が顕著となっており、本来必要な税負担に改める必要があるため、被保険者の急激な保険税負担を回避しながら、段階的な税率の引き上げを実施することとしていますが、国保基金の一部取崩を実施し負担の一部を補填するとともになお不足する2,510万円については一般会計からの支援を行い、会計運営の収支均衡を図ります。

後期高齢者医療会計では北海道後期高齢者医療広域連合負担金の減額により前年比260万円の減額となっています。

簡易水道事業会計では、予算は前年当初比110万円の増額となりましたが、町民生活の安心に直結する水道水の安定した供給を行うため、各施設の維持管理の充実を進めます。

下水道事業会計は、予算は前年当初比290万円の減額となりました。収入では、社会資本整備交付金を活用するとともに、引き続き資本費平準化債を活用し、下水道供用開始当初の整備負担の軽減を図ります。

農業集落排水事業会計は、公債費の減少により前年当初比310万円の減額です。

3 財源の調整

各課からの予算要求時点では、支出見込額が収入見込額を上回り、8億8,000万円あまりの収入不足が見込まれていましたが、優先度を考慮した事業の取捨選択と経常経費の抑制による支出の見直し、国や道負担金補助金の計上及び町債の発行による収入予算を確保した結果、支出見込額と収入見込額の差を3億3,000万円までに圧縮しています。

新規事業や重点事業の拡充、現状の把握及び将来への構想、計画の策定など、将来を見据えた投資により生じたこの収入の不足額については、公共施設整備基金1億円、財政調整基金2億1,000万円、地域福祉基金2,000万円の取り崩しをもって、収支の均衡を図っています。なお、予算執行においては経費の節減に努め、基金取崩額の圧縮を図ります。

その結果、平成27年度末の予想基金残高は約9億5,704万円となります。

基金残高(一般会計)

単位:万円

単位:万円

基金名	H26年度見込み				H27年度見込み			
	積立	取崩	残高	対前年増減	積立	取崩	残高	対前年増減
財政調整基金	40	0	50,285	40	48	21,000	29,333	△ 20,952
減債基金	1,001	3,700	1,001	△ 2,699	0	0	1,001	0
公共施設整備基金	71	8,000	39,380	△ 7,929	85	10,000	29,465	△ 9,915
社会福祉事業基金	14	1	3,314	13	1	1	3,314	0
地域福祉基金	3	1,703	5,330	△ 1,700	2	2,002	3,330	△ 2,000
スポーツ振興事業基金	0	10	386	△ 10	0	0	386	0
交通遺児育英基金	0	0	17	0	0	0	18	0
ふるさとづくり基金	62	0	1,137	62	0	0	1,137	0
役場庁舎建設基金	1,000	0	1,000	1,000	0	0	1,000	0
土地開発基金	831	829	20,552	2	2	0	20,554	2
産業振興基金	5	0	6,163	5	5	0	6,167	4
一般会計 計	3,028	14,244	128,564	△ 11,215	143	33,003	95,704	△ 32,860

4 主な取組み事業

持続的な経済循環へ

①農業生産基盤の整備

農業の生産性の向上に不可欠な良好な農業生産基盤の整備のため、本年度より国営緊急農地再編整備事業の本格工事が開始されます。

事業整備は全体で1,490haとなっており、早期着手が望まれていた事業であることから、今後もスムーズな事業推進のため、期成会による活動をより活発化するとともに、農地の集積化に必要な整備農地の権利調整を行う換地計画の作成を進めていきます。

町独自の事業として明暗渠掘削特別対策事業を継続し、生産基盤の整備を進めます。

②農業の多面的機能の維持、発揮

地域の共同活動によって支えられている多面的機能の発揮を継続的に進めるため、協定を結んだ地域の共同活動や地域資源の維持管理に必要な事業費に対し、多面的機能支払交付金事業として国50%、道25%、町25%を助成し、将来においても機能が適切に発揮できるようにするとともに、担い手育成等の構造改革を進めていきます。

③担い手対策

新たな二セコ農業の担い手育成対策として、昨今の農業への関心の広がりや背

景に本町の地勢や都市部に近い地理的条件を生かして、多様な農業経営体を育成・確保するため、所得目標など経営計画の基準を満たす小規模経営就農者に対し、無利子の貸付金制度を継続的に実施しています。

④高品質米生産の推進

クリーン農業と高品質米の産地化の定着化を図るため、化学肥料の低減などクリーン農業に取り組み、品種による一定のタンパク基準をクリアした米生産者に対して引き続き助成します。

⑤集落支援員・地域おこし協力隊 拡

農業地域を中心に地域活動の支援を行う「集落支援員」及び「地域おこし協力隊」制度を活用して、地域外の人材を積極誘致し、農林業など担い手不足の作業支援、環境保全や地域おこし活動などといった地域全体の協力活動に参加し、地域力の維持・向上と隊員の起業化、定住化を進めます（かかる経費は特別交付税で財源措置されます）。

⑥観光客誘客の強化

国内事業としては、競争力の高い魅力ある観光地づくりに向けて、民間事業者のアイデアを生かし、その挑戦を支援するため、民間事業者が企画・実施する観光振興に係る事業に対し「ニセコ観光魅力アップ事業補助」を継続します。

町内のイベント支援強化として、ニセコエリアの観光事業者などで構成する「ニセコフェスティバル実行委員会」等が行う主催イベントや体験プログラム等の広告宣伝経費等に対して助成を行い、幅広い事業者間の取り組みと連携強化を支援します。

このほか、観光客をターゲットにし、町内への集客を目的とした湯めぐりバス運行への助成を継続します。

⑦ニセコ観光圏事業の推進 拡

平成26年7月に認定されたニセコ観光圏を活用し、ニセコエリア全体としての観光振興を進めます。

⑧町内消費の拡大

自立・循環型経済システムへの転換を図るため、町内消費意欲の向上と商業の活性化、子育て世代の町内消費拡大と子育て家庭への生活支援を目的とした「子育て支援カード」に対して引き続き補助します。

⑨商業の振興や賑わいの創出

町内において小規模事業所を新設又は継承して新たに起業する方、又は業種の転換や事業所の拡張など積極的な事業展開を目指すために建物の新築や増改築、改装を行う費用の一部を助成します。

また、駅前温泉「綺羅乃湯」の機能向上に向けた取り組みを継続するとともに、中心市街地の活性化を図るため、綺羅街道における「市」（通称綺羅キラ市）を開催等、観光客の誘導などにより商店街の賑わいの創出と商店街の活性化を支援します。このほか、「七夕の夕べ花火大会」などに対して継続支援を行います。

誰もが健やかに笑顔で暮らせるまち

①高齢者グループホームの運営

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、介護スタッフによる食事、入浴等の生活支援や機能訓練を受けつつ共同生活を行う住居として「社会福祉法人ニセコ福祉会」による高齢者グループホームが昨年度より運営を開始しています。

本年度には2ユニット目（9名）の受入も始まりますが、当事業の安定的運営を図るためにグループホーム運営経費への助成を実施し、居住者が安心して生活できる環境を確保します。

②高齢者世帯の除雪費用の助成

高齢者世帯の私道除雪委託や住宅周辺の除雪サービス、業者に委託している除雪費用の一部の支援等を継続します。

③重度障がい者タクシー料金扶助制度及び住宅改修費助成事業

身体に障がいを持つ方の社会参加をより一層促進するため、重度障害者タクシー料金扶助制度の年間利用限度額の引き上げを継続します。

また、介護保険制度及び障害者自立支援法に基づく住宅改修費助成事業についても、住宅改修費の補てんがされない20万円を越える部分の利用者自己負担の半分を町が引き続き助成します。

④予防接種事業の推進及び中学生までの医療費の無料化

1歳から就学前までの小児への感染症対策として、おたふくかぜの予防ワクチンの接種費用を、インフルエンザ予防接種については、子ども、高齢者等への全額支援を継続します。また、子育て家庭への支援として、中学修了までの子どもにかかる医療費の無料化を継続します。

⑤健康診査費用の無料化

75歳以上の高齢者の特定健康診査については、受診者負担の軽減と受診率の向上を図るため、引き続き健診費用の無料化を行います。

国民健康保険事業では、病気の早期発見による重症化の予防、医療費の抑制などを目的として、40歳以上の特定健康診査にかかる一部負担金の無料化を継続実施します。

環境にやさしいニセコの創造

①低炭素な地域づくり実行計画策定業務 新

平成26年度作成したニセコ町の「環境モデル都市アクションプラン」を基に、ニセコ町で具体的に取り組む事業の調査及び整理を行い、低炭素な地域づくり実行計画を作成します。

②LED街路灯の推進公共施設の省エネ化の推進

国の補助金を活用し、町内に点在する街路灯（町及び町内会所有）のLED照明への更新工事を実施します。

最終となる本年度は、市街地以外の街路灯約80基のLED化への更新工事を進める予定です。

また、今後の公共施設などの設置、管理にあたっては、更新期などあらゆる機会を捉えて、新・省エネルギー対策を講じます。

③一般住宅の省エネルギー改修の促進

一般家庭における環境負荷低減の取組として、既存住宅の省エネルギー改修（断熱性能向上）費用の一部を引き続き助成します（補助金上限30万円）。

④民有林及び町有林の整備

国の補助事業等を活用して民有林の整備を進めるほか、峠地区の町有林（18ha）の間伐事業を実施します。

また、町独自の取り組みとして、引き続き森林整備を一層進めるために民有林の保育に必要な除間伐奨励制度を実施し、民有林の環境整備を促進します。

豊かな心と個性ある文化を育む

①学童クラブ（仮称）の建設 新

ニセコ小学校の一教室を活用し運営していた学童保育事業と町民センター等を活用して実施していた放課後子ども教室事業を一体で運営できる施設の建設を進め、目標であった運営の一体化と小学校6年生までの受入れ年齢の拡大を進めます。

②子育て家庭への支援 新 拡

小中学校および高等学校で提供している学校給食において、第3子目以降について、子育て家庭の所得状況を考慮しながら給食費の免除を開始します。

小・中学校のスキー授業で必要となるスキーリフト費用について、引き続きかかる経費を町で負担します。

また、小中高生のスキー場シーズン券の購入に対して助成の拡充をします。

③教育環境の充実

二セコ小学校及に特別支援講師を配置して、個別的配慮の必要な児童生徒の学習支援を行うほか、小中高等学校に対して、スクールカウンセラーを派遣して、学校生活における児童・生徒の心のケアに努めます。

また、二セコ高校の老朽化した生徒用トイレの洋式化を進めます。 新

④国際感覚を養うための支援

これからの国際社会を見据え、幼児期からの国際理解と英語教育の推進による国際感覚の醸成を図るため、幼児センターや小・中学校に英語教育講師を派遣します。また、高校でもJETプログラムを活用した外国人講師を配置します。

社会教育事業として団体と町の共同事業により高校生に対し二セコ高校生海外留学派遣事業を継続実施。また、二セコ高校における修学旅行では、旅行先をマレーシアとして現地ホテルスクールとの連携による国際観光都市におけるホテル実習体験などを通じ、国際社会に通用する人材の育成に努めます。

⑤国際交流員（CIR）の受入と国際化の推進

国が行うJETプログラムを活用し、海外青年4名の派遣を受け入れます（経費は地方交付税で財源措置されます）。外国語刊行物の編集・翻訳や国際交流事業の企画・立案、外国からの訪問客の接遇など国際交流活動を進展します。

また、国際交流推進協議会において、町民と海外留学生や外国人定住者、国際交流員との文化交流の機会を設けるなどして地域の国際化を推進します。

⑥スポーツ競技選手との交流 拡

小中学生を中心とし、各種競技トップ選手や二セコに縁のある選手を招き教室を開催し、選手との交流を通じてスポーツへの技術、意欲の向上、努力することの重要性を知る機会を提供します。

安全で安心な暮らしを支える

①防災機能の強化 新

本町は泊原発事故時の「緊急時防護措置を準備する区域」となっています。

防災対策備品の整備や非常食の補充などの資材購入のほか、継続的に具体的な災害を想定した総合防災訓練を実施し応急対応力の向上に努めます。

また、地域防災対策の拠点、災害時に適切に対応できる施設整備として、「防災センター」の建設へ向けた基本設計調査を行います。

②コミュニティFM放送局の運営

オフトーク通信に代わる新たな情報共有手段として、「ラジオ二セコ（周波数76.2MHz）」を運営しています。行政情報や防災情報に加え、地域の情報や観光情報を幅広くお知らせするとともに、子どもたちをはじめとして町民参加

による番組づくりなどにより、地域コミュニティ活動の拠点としての事業を展開します。なお、放送事業者である株式会社ニセコリゾート観光協会に対し、放送運営に必要な経費の支援を行います。

③にこっとBUS（デマンド交通）の運行

地域循環バス「ふれあいシャトル」に代わる交通手段として、交通弱者の域内交通手段の確保やドアトゥドアのサービスの展開するため、「にこっとBUS」の運行を平成24年10月より実施しています。

運行費用の一部を助成し、安定的な交通手段の確保と利用者の利便性の向上を図ります。

④消費生活相談センターの運営

消費者生活相談・苦情処理等に対応するため、倶知安町を除く周辺7町村による消費生活相談の広域体制（ようてい地域消費生活相談窓口）を共同運営しています。

⑤町道羊蹄近藤連絡線歩道整備

交通量の多い国道5号と道道岩内洞爺線を短絡する幹線町道の沿線住民の安全性を確保するため、歩道の整備を進めます。平成27年度は255mの歩道整備と舗装改良工事を進めます。

⑥橋梁改修工事 新

橋梁の長寿命化や事故の未然防止の為、橋梁の長寿命化計画を策定すると共に計画的に修繕工事を進めます。

⑦公営住宅の住環境の改善

公営住宅ストック総合活用計画に基づき、老朽化した富士見団地（3棟24戸）、綺羅団地（2棟20戸）の長寿命化複合改善工事を進めます。

今後も住宅の長期利用の計画を進め、次年度以降に向けた新有島団地等既存施設の長寿命化に向けた実施計画を行い、住環境の改善を図ります。

⑧中央地区旧倉庫群改修事業

市街地中央地区の既存倉庫群の再生利用による賑わいの再生や新たな拠点づくりの事業をより具体化するため、倉庫群スペースの再活用計画の最適化、運用方法の検討を進めます。財源は国の交付金を活用します。

未来を見据えた行財政の基盤づくり

①総合計画の策定と戦略的な行財政運営

第5次二セコ町総合計画に掲げる「環境創造都市二セコ」の基本理念のもと、まちづくりを推進します。

また、新たな財政計画（中期財政見通し）や新行政改革計画に基づいた、戦略的な行財政運営に取り組みます。

②町税等収納対策の強化

税の公平性を図るため、町税等収納対策推進計画に基づき、新たな滞納の発生抑制と収納対策、後志広域連合との連携を図りながら滞納整理を進めます。

③計画的な公共施設管理 新

今まで策定してきた公営住宅、道路ストック総合活用計画、橋梁、下水の長寿命化計画などを基礎とし、公共施設全般の必要性などを含め、将来的な負担を減らすよう、次年度から2ヵ年かけて公共施設管理計画を作成し、公共施設の維持管理に努めます。

④簡易水道将来ビジョンの策定 新

水道事業の自立かつ持続可能な水道運営に必要な現状把握と将来に向けた取り組みを計画的に実施するための計画づくりに着手します。

4 一般会計 歳入・歳出の内訳（款別）

単位：万円、%

款	区 分	歳 入				予算構成比	
		本年度予算	前年度予算	増 減 額	増減率	本年度	前年度
		A	B	A-B			
1 町税		61,184	60,861	323	0.5	13.9	15.4
2 地方譲与税		4,700	4,900	△ 200	△ 4.1	1.1	1.2
3 利子割交付金		80	90	△ 10	△ 11.1	0.0	0.0
4 配当割交付金		70	50	20	40.0	0.0	0.0
5 株式等譲渡所得割交付金		30	7	23	328.6	0.0	0.0
6 地方消費税交付金		5,200	6,700	△ 1,500	△ 22.4	1.2	1.7
7 ゴルフ場利用税交付金		300	300	0	0.0	0.1	0.1
8 自動車取得税交付金		500	500	0	0.0	0.1	0.1
9 地方特例交付金		100	100	0	0.0	0.0	0.0
10 地方交付税		189,000	188,500	500	0.3	43.1	47.5
11 交通安全対策特別交付金		70	90	△ 20	△ 22.2	0.0	0.0
12 分担金及び負担金		3,285	3,706	△ 421	△ 11.4	0.7	0.9
13 使用料及び手数料		14,711	14,543	168	1.2	3.4	3.7
14 国庫支出金		37,794	24,732	13,062	52.8	8.6	6.2
15 道支出金		19,445	14,315	5,130	35.8	4.4	3.6
16 財産収入		3,570	3,291	279	8.5	0.8	0.8
17 寄附金		0	0	△ 0		0.0	0.0
18 繰入金		33,003	24,705	8,298	33.6	7.5	6.2
19 繰越金		3,000	3,000	0	0.0	0.7	0.8
20 諸収入		15,668	13,558	2,110	15.6	3.6	3.4
21 町債		47,290	33,052	14,238	43.1	10.8	8.4
歳 入 合 計		439,000	397,000	42,000	10.6	100.0	100.0

款	区 分	歳 出				予算構成比	
		本年度予算	前年度予算	増 減 額	増減率	本年度	前年度
		A	B	A-B			
1 議会費		5,300	4,987	313	6.3	1.2	1.3
2 総務費		108,838	105,582	3,256	3.1	24.8	26.6
3 民生費		63,500	56,805	6,695	11.8	14.5	14.3
4 衛生費		32,938	29,825	3,113	10.4	7.5	7.5
5 労働費		204	204	0	0.0	0.1	0.1
6 農林水産費		16,084	12,709	3,375	26.6	3.7	3.2
7 商工費		9,448	9,016	432	4.8	2.1	2.3
8 土木費		67,732	49,209	18,523	37.6	15.4	12.4
9 消防費		16,062	15,854	208	1.3	3.7	4.0
10 教育費		45,886	41,549	4,337	10.4	10.4	10.4
11 災害復旧費		51	51	0	0.0	0.0	0.0
12 公債費		72,657	70,909	1,748	2.5	16.5	17.8
13 予備費		300	300	0	0.0	0.1	0.1
歳 出 合 計		439,000	397,000	42,000	10.6	100.0	100.0

【この資料のお問合せ】 ニセコ町 総務課財政係 担当：係長 中川 博視
 業務時間：8:30から17:15まで
 電 話：0136-44-2121
 mailto:zaisei@town.niseko.lg.jp